

第41回湯浅まつりを開催しました！

7月22日（土）、第41回湯浅まつりが開催されました。

今年は日本遺産認定をお祝いして、約2500発の花火が夜空を彩り、いろいろなイベントも開催され、盛り上がった湯浅まつりとなりました。

ご協力いただきました皆様、湯浅まつり実行委員会より謹んでお礼申し上げます。



①湯浅ぞめき



②盆おどり大会



③創価和歌山ブルーイーグルス



④湯浅幼稚園鼓隊



⑤演歌ショー（新海 友也氏）



⑥伝統的な町並みから見える花火



⑦駅前周辺商店街振興会 ピアガーデン(7/21)



⑧道町商店街振興会 金魚すくい



⑨北町通り行灯ライトアップ

「和歌山県湯浅町の歴史的資源を活用した地域活性化に向けた包括連携協定」の調印式が行われました

6月30日(金)に湯浅町、株式会社紀陽銀行及び古民家再生を手掛ける一般社団法人ノトの3者による調印式が行われました。

本町における歴史文化や日本遺産等を活かした地方創生を推進する事業活動等に対し、相互の連携及び協力の下で支援することを目的としたもので、古民家や空き家などの建造物を、宿泊施設や飲食施設として有効に活用し、経済効果の高い宿泊など現地での消費を促す仕組みを整えることで、創業や雇用を創出するなど、地域活性化を図ります。



(左から)
株式会社紀陽銀行 松岡崎之 取締役頭取、上山町長、
一般社団法人ノト 藤原岳史 理事

七夕まつりが開催されました

7月7日(金)、鳥之内区内にて七夕まつりが開催されました。地元の小学校関係、保育所関係の子どもたちが飾り付けた笹がライトアップされ、行灯のやさしい明かりが参道を照らし、訪れた方々は、子どもたちの願いごと等を手に取ってご覧になっていました。



交通安全七夕飾り

7月7日(金)に湯浅地区地域交通安全活動推進委員協議会主催の交通安全七夕飾りが湯浅警察署にて開催されました。

当日は武者越保育所の年長児18名が参加し、交通安全に関する内容を書いた短冊や、保育所で作ってきた飾りなどを思い思いに飾りつけました。

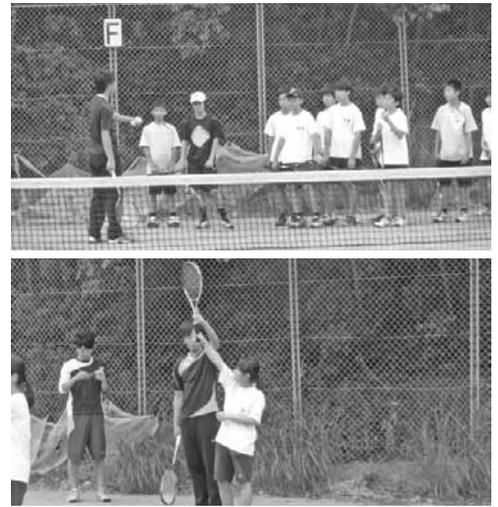
最後に園児たちが七夕のうたを歌い、「僕たち私たちは交通ルールを守ります!」と大きな声で約束した後、ひとりひとり「よい子の免許証」を受け取りました。



増田選手、湯浅中学生に指導！

2016年度全日本ソフトテニスシングルス選手権大会優勝者、増田健人選手（29）が6月6日、湯浅町・なぎの里テニスコートを訪れ、湯浅町立湯浅中学校ソフトテニス部28名（男子15名、女子13名）に技術指導を行いました。

3年のテニス部主将、山本紘矢君（15）は「夏の大会を目前に控えたこの時期に教えていただけて、とてもありがたかったです。ネット上の動画やDVDで観た選手を目の前にするととても緊張しましたが、教えていただいたことを胸に、最後の大会に向かっていきたいです。」とインタビューに答えていました。同校では8月にも増田選手による技術指導を予定しています。



第38回朝日少年少女囲碁名人戦全国大会出場！



6月10日（土）、和歌山市で開催された「第38回朝日少年少女囲碁名人戦県大会」において、湯浅小学校5年生の森本昊一郎君が、小学生の部2年連続で優勝し、全国大会（東京都 日本棋院 8/1～）への出場が決定しました。

森本君は、全国大会に向けて現在は大人に混じって練習を積み、「去年は全国大会では勝てなかったので、まず1勝を目標にがんばります」と力強く意気込みを語ってくれました。

ケンブリッジ・アイサンティ高校短期留学生在が表敬訪問しました

湯浅町の姉妹都市であるケンブリッジ市（アメリカ・ミネソタ州）のケンブリッジ・アイサンティ高校の学生たちが、姉妹校の耐久高校へ短期留学に来日し、表敬訪問のため湯浅町役場を訪れました。

留学団を代表してジム・ゴッドフリー氏は、「今回、留学生として訪れた若い二人が、年を重ねて、今度は私のように引率者として次代の留学生たちと共に再び湯浅町を訪れることができるよう、末永く交流が続くことを願っています。」とあいさつされました。

約2週間の滞在期間には、湯浅町島之内で開催された七夕まつりに浴衣を着て参加したり、京都・広島を訪れて様々な日本文化に触れました。

